

性別によるアンコンシャス・バイアスに関する学習教材（中学生向け）の活用事例

目標

自分の中にあるアンコンシャス・バイアス（＝無意識の思い込み。以下、「アンコン」という。）に気づくことが自分の可能性を広げることにつながることを理解し、一人ひとりがいきいきと活躍できる未来のためにそれぞれの違いを尊重した行動が取れるようにする。

活用の流れ

	学習活動	指導上の留意点	資料・準備物等
導入	1 啓発資料から、性別によるアンコンについて理解する。 2 学習課題を確認する。 自分の身近にある性別によるアンコンについて考えよう。	・アンコンへの理解を深めるために、啓発資料に記載されているアンコンの定義をおさえる。 ・アンコンは誰にでもあることや、それに気づくことで、自分の可能性が広がることを伝える。	・啓発資料(中)
展開	3 普段の生活の中に、性別によるアンコンがないかを考える。 (1)動画視聴から、感じたことをワーク1に記入する。 (2)グループ内で、アンコンについて話し合い、ワーク2にまとめる。その後、全体に共有する。 4 アンコンへの気づきが、自分の生活にどのような影響を与えるか考える。 ・自分の考えをまとめ、ワーク3に記入する。その後、全体に共有する。	・身近にあるアンコンについて内省しやすいよう、啓発資料のイラスト例や解説及び動画内容を伝える。 ・アンコンに対して様々な視点から捉え直すことができるよう、グループや全体で意見を共有させる。 ・生徒の多様な意見を取り上げ全体で共有する。	・啓発資料(中) ・動画視聴機器(タブレット等) ・啓発資料(中) ・タブレット ・モニター ・啓発資料(中)
振り返り	5 学習を振り返る。 ・自分の考えをまとめ、ワーク4に記入する。	・「それぞれの違いを尊重する行動が取れるようになり、一人ひとりがいきいきと活躍できる未来を創っていく」ことの大切さを伝える。	・啓発資料(中)

活用場面例

【各教科等】

- ・社会科公民 C 私たちと政治 (1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則
- ・技術・家庭科 (家庭分野) A 家族・家庭生活
 (1) 自分の成長と家族・家庭生活
- ・特別活動
 学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画
 学級活動(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 学級活動(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
- ・総合的な学習の時間 職業や自己の将来に関する課題
- ・人権週間の活用資料として

など

【家庭等との連携】

- ・長期休業中の課題（保護者等とアンコンについて話し合う）として
- ・学年保護者会及び個人懇談の啓発資料として

など